

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2025年1月8日

事業所名: 発達支援センター巣立ち
(児童発達)

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・ 体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	60	40	0	荷物を置ける場所を確保してほしい。	88	9	0	3	・子供たちが同時に遊んでもぶつからないほどの広さである。 ・個別療育の部屋にイスが積んであるのが子供が近づいたときに危険だと思う。	子供たちがイスをさわったりできないように仕切りをし、安全面に配慮した。
	2 職員の適切な配置	60	40	0	時間のゆとり、休みを取りやすい環境づくりのために職員を増やしてほしい。	91	0	3	6	職員が多忙なのではないかと心配になることがある。 過労とならないように十分な人員確保をしてほしい。	必要に応じて補助スタッフを入れ、対応している。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	60	40	0	子供が個別療育をしている間、保護者は廊下から見てもらっており、冷暖房がないため保護者の体調が気になる。	79	12	0	9	子供が次に何をやるかの順番が分かって行動できていると感じる。	安全面に配慮し、特性に応じた設備になるよう工夫している。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	60	40	0	老朽化により雨漏りがある。	100	0	0	0	どの部屋もきれいで活動しやすい空間である。	毎日、活動前に検温やアルコール消毒、床や棚などの清掃を行っている。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	100	0	0							毎日、朝の打ち合わせで、療育内容を確認し、その日のうちに振り返りを行い、次の療育に生かせるようにしている。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	0	80	20	実施していない。						第三者による外部評価は未実施である。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	100	0	0	リモートの活用で定期的な研修の機会を確保している。						一昨年から、毎月一回、オンラインを利用した職員研修を実施している。
1	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	100	0	0		97	0	0	3		今年度中に作成予定である。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
適切な支援の提供	2	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	100	0	0		94	3	0	3	子供の性格等をよく見てそれぞれの子の目標をしっかりと立てられている。	面接時間を確保し、保護者からの聞き取りを通して支援計画を作成している。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	100	0	0		97	3	0	0	個々に合った内容になっていると感じる。	保護者からの聞き取り等を通じて、具体的な内容の記載に努めている。
	4	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	100	0	0		/	/	/	/	/	保護者に個別療育、集団療育の必要性を伝え、個に応じた指導になるよう努めている。
	5	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	100	0	0		94	0	0	6	実施されていると感じる。	支援計画等を職員間で共有し、計画に沿った支援を心掛けている。
	6	チーム全体での活動プログラムの立案	100	0	0	職員でプログラムが適切であるかを話し合っている。	/	/	/	/	/	毎朝、職員間で確認し、改善しながら立案している。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	100	0	0	利用する子供に合わせてプログラムを変えている。	85	9	3	3	・子供に合わせた活動内容になっていると感じる。 ・毎回プログラムを変え、子供の興味を引く内容になっている。	子どもの成長や実態に応じ、季節感等も考慮しながら柔軟にプログラムを組み立ててきた。
	8	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	40	60	0		/	/	/	/	/	巣立ちの療育は平日のみの実施となっている。
	9	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	100	0	0	朝のミーティングで確認する時間が取れている。	/	/	/	/	/	毎朝、支援内容や役割分担等について全職員で確認している。
	10	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	100	0	0	次回の支援がより良くなるよう必ず振り返る時間を設けている。	/	/	/	/	/	支援終了後、振り返りや情報の共有化を行い、以後の療育に生かせるようにしている。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
適切な支援の提供（続き）	11	100	0	0						当日の活動の様子等を詳細に記録し、保護者の確認を得て、次の活動に生かしている。
	12	100	0	0						モニタリングの時間確保に努め、定期的にモニタリングを行うことで、計画の見直しを行っている。
関係機関との連携	1	100	0	0						できる範囲で積極的に参加していく。
	2	100	0	0						必要に応じて相談支援事業所の相談支援専門員や保育師等と積極的に共通理解を図る。
	3	80	20	0	まず保護者に聞いている。					保護者からの聞き取りを中心に、必要に応じて医療機関等との連絡体制を整えていく。
	4	80	20	0						必要に応じて情報共有をしている。特に、保育所や幼稚園とはひんばんに情報交換を行っており、担当職員が見学や相談に来所する場合も多い。
	5	80	20	0						必要に応じて、できる範囲で情報提供を積極的に進めている。
	6	60	40	0	専門機関は近くにないため、専門病院や専門の大学教授のアドバイスをもらっている。					リモートを活用した研修や、療育相談、機能訓練、発達検査担当の先生方からアドバイスをいただき、日々の活動に生かしている。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携（続き）	7	0	40	60		50	12	9	29	・障がいをもっていない子供とうまく関われるか不安なためそういう機会があれば嬉しい。 ・通っている保育園の先生たちは児童発達支援の制度のことを知らないため児童発達の先生に聞いたことを伝えても伝わらないことが多い。	職員間の交流は行っているが、子ども間での交流はほとんど実施できていない。こちらからも積極的に情報提供していく。
	8	0	40	60	実施していない。						現在のところ実施していない。
保護者への説明責任・連携支援	1	100	0	0		97	0	0	3	丁寧に説明されている。	利用開始前の話し合いの際に、丁寧な説明に努めている。
	2	100	0	0		97	0	0	3	毎回丁寧に子供の活動内容を説明してもらっている。	保護者と共通理解を図りながら丁寧な説明を心掛けている。
	3	40	60	0		79	9	0	12	・参加したことはないが今後利用したい。 ・助言を実行できないことが多いが、通所前よりは育てやすくなった。	市の教育支援室と連携しながら保護者との座談会を実施している。
	4	100	0	0		94	6	0	0	子供の状況を伝えている。	個別支援計画作成時やモニタリング、日ごろの会話の中で積極的に共通理解を図ってきた。
	5	100	0	0		94	6	0	0	優しく助言や共感をしてきている。	保護者の気持ちを受け止めながら、親身な対応に心掛けてきた。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援（続き）	6	20	40	40	父母の会は現在行っていないが、必要に応じて保護者の連携支援は行っている。	35	15	9	41	人付き合いが得意ではないため今くらいがちょうどいい。	保護者会はないが、教育支援室と連携を取り、ペアレント・メンターとの座談会を開催している。
	7	100	0	0		50	6	0	44	苦情を言ったこと、他から聞いたこともない。	迅速に、誠意ある対応に心掛けてきた。
	8	100	0	0		91	6	0	3		個々の特性に応じた方法で伝えるよう心掛けてきた。研修等を通じて、職員の資質向上を目指す。
	9	60	20	20	個人情報の保護の関係で会報は発行していないが、行事予定や活動のねらいは発信している。	38	12	3	47		毎月、行事予定を発行している。その他、活動室や廊下の掲示物で情報提供している。
	10	100	0	0		91	6	0	3	撮影禁止等個人情報の取り扱いは十分に管理されている。利用人数が一人のときはスマホで子供の様子を撮影してみたい。	個人情報の取り扱いについては、職員間で確認しながら注意してきた。
非常時等の対応	1	60	40	0		53	6	6	35	説明も対策もされていると感じる。	今年新たに、感染症対応マニュアルを作成した。保護者への周知について検討していく。
	2	100	0	0		44	3	12	41	訓練を療育中に行うのは難しいと思うので、保育所等での避難訓練の様子を保護者から聞き取る等はあってもよいかと思う。	その時の利用者の協力で、保健センター内の避難訓練や県主催の原子力防災訓練、津波避難訓練に参加している。
	3	100	0	0	保護者に聞いて確認している。	/	/	/	/		保護者との面談を通して実態把握に努め、個々に応じた対応をしている。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の対応（続き）	4	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	60	40	0						保護者との面談を通して実態把握に努めている。現在、本施設での食事提供はない。
	5	安全管理の徹底	80	20	0						安全計画を策定しており、それに従った取り組みをしている。
	6	家族等との連携を図るため、安全計画に基づく取組内容についての家族等へ周知	80	20	0						本施設利用の際に説明しているが、さらに機会をとらえ、継続した周知について検討する。
	7	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	80	20	0						ヒヤリハットは作成済みだが、記録の累積に努め、共通理解のもと対応する。
	8	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	100	0	0						虐待防止委員会を設置し、職員研修を実施している。日々、職員間で情報交換するようにしている。
9	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	80	20	0						身体拘束適正化委員会を設置し、職員研修を実施している。現在、具体的な事例はない。	